

令和3年度

一関地球温暖化対策地域協議会

定時総会(書面議決)

令和3年5月14日(金)

一関地球温暖化対策地域協議会

一 定時総会次第 一

議事

報告第1号	令和2年度事業報告	1
認定第1号	令和2年度収支決算	5
監査報告		6
議案第1号	令和3年度事業計画(案)	7
議案第2号	令和3年度収支予算(案)	9
議案第3号	役員を選出について	10
議案第4号	役員の承認について	10

報告第1号 令和2年度事業報告

会則第11条第2項に基づき令和2年度事業について次のとおり報告する。

令和3年5月14日提出

一関地球温暖化対策地域協議会
会長 徳谷喜久子

昨年4月7日に、新型コロナウイルス感染拡大に対して「緊急事態宣言」が7都道府県に出されてから1年が経過しましたが、ウイルスは変異して世界中に拡大し続け、ようやく接種の始まったワクチンの効果が待たれています。

当協議会も活動の中止を余儀なくされる場面もあり、今年の2月に久々に「脱炭素な暮らし事例発表会」を開催できました。

また、会員からの意見をまとめた「施策提言書」を、昨年12月に一関市に対して提出しました。会議やイベントの開催が制約される中で、可能な限りの活動を実施しました。

1 地球温暖化対策の学習・教育活動の推進

(1) 環境セミナーの開催は中止

当初は5月23日（土）総会との併催を予定し、その後、総会を书面議決としたことにより、9月12日（土）に変更の上準備を進めたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

○予定講師 鷺谷いづみ東京大学名誉教授

○予定演題 「気候危機緩和策と生物多様性の保全」

鷺谷先生がセミナーの内容を広報e c o第29号に寄稿

(2) 脱炭素な暮らし事例発表会

CO₂の排出正味ゼロ世帯を見出し、それを全市民に紹介することによって、その広がりを目指して開催した。7名からの応募があり、役員がヒアリングして、各世帯のCO₂排出量を計算し、それに基づいて5名が発表した。応募者全員が太陽光発電を導入し、中にはEVや蓄電池を使用している発表者も見られた。

○日時 2月6日（土）13：30～16：00

○場所 一関保健センター多目的ホール

○発表者 本人5名（各15分＋質疑5分）

※発表終了後、意見交換会を実施

○共催 岩手県地球温暖化防止活動推進センター

○参加者 関係者13名（発表者家族含む）、
会員26名、一般26名 計65名

※アンケート回答者は33名、うち17名が自由記述



(3) 地球温暖化に関する広報 e c o の発行

一線を超えた地球温暖化の進行を伝え、脱炭素社会に向かう行動を促すため、広報編集委員会を開催し市内全世帯に広報 e c o を 2 回配布した。

【第29号】 R 2 . 10 . 15 発行

- 新型コロナと地球温暖化
- 持続可能な未来のために
- 身近にある生物多様性の世界
- 今どきの賢いエアコン
- 新企業会員紹介 (株) ありが東 S U N



【第30号】 R 3 . 3 . 15 発行

- 温暖化対策の提言書を提出
- 未来をまもる子ども作文コンクール2020優秀賞
- 「脱炭素暮らし」事例発表会
- 太陽光発電は何年で元が取れるか？
- 通勤に電気自動車を使用して10年
- クイズ地球温暖化



2 会員相互の情報交換、発信

(1) 会報の発行

会員相互の情報交換を行うことを目的に、I E L 会報を 3 回発行した。



【第29号：8/12発行】



【第30号：1/20発行】



【第31号：5/7発行】

3 地域で実践できる協働事業の実施

(1) 自然エネルギー等見学会を中止

市内の廃棄物処理の現状を知り、ごみの減量や資源化への動機づけのため見学会の開催を準備したが、直前に新型コロナウイルス感染者が市内で発生したため中止した。

- 予定日 11月6日(金)
- 予定見学先 一関清掃センターリサイクルプラザ、上山製紙(株)

(2) ゼロ・エネルギー住宅見学会

会員企業であるスマート環境デザイン（株）が施工中の建物を見学した。

- 開催日 3月14日（日）
- 場 所 市内花泉駅付近
- 参加者 会員7名＋一般5名



4 その他協議会の目的達成のために有効な諸活動

(1) 市長に施策提言書を提出

平成28年8月に2回目の施策提言書を提出したが、その頃から気象災害が激甚化・広域化し、令和元年東日本台風に際しては市内でも大雨特別警報が発表された。深刻化する地球温暖化、その対策の具現化が必要と考え、第3回目の提言につなげる話し合いを重ね、8月12日に会員に施策提言意見を募り、9月7日にはその意見への追加意見を募集した。その結果、会員から多数の意見が寄せられたので、重複する意見をまとめ、重要度の低いものはそぎ落とし、4回にわたり役員会議で協議、さらに推敲を重ね6分野28項目の提言書を市長に提出した。

- 提出日 12月2日（水）
- 提出者 徳谷会長、千田副会長、佐々木事務局長
- 回答書受領 2月9日（火）

回答書では「気候非常事態宣言」と「2050年CO₂実質ゼロ宣言」に関してはその実効性を担保するための取組について検討すると記されていたが、その直後の2月22日には令和3年度の施政方針において「2050年CO₂実質ゼロ」を目指すことを市長が宣言した。

また、各項目に対する回答には10の担当課が明示された上、前向きに捉えられるものが多く、その後、「資源・エネルギー循環型まちづくりビジョン」においては一層踏み込んだ施策が示され、今後どのように進められていくのか注視したい。



(2) 協議会ブースの設置による市民フェスタへの参加

いちのせき市民フェスタにおいて、「気候危機を乗り越えるために」と題し、20枚のパネル展示と、それに関するアンケート調査を実施した。

- 開催日 8月30日（日）
- 場 所 花と泉の公園
- 来場者 約50名（アンケート回答者28名）
- 内 容 展示したパネルのほか、アル・ゴア氏のスライドも上映した。コロナ、生物多様性、気候危機のうちから最も脅威に感じるものはとのアンケートを実施したが、気候危機が24名。ゆっくりと展示物を読んでもらえる状況であった。



(3) 「クイズ地球温暖化」当選者に景品の「一関産無漂白天然素材」のヘチマを贈呈

- 応募者 37名
- 当選者 15名
- 抽選会 4月8日(木)
- 抽選者 徳谷会長
- 発送日 4月9日(金)



(4) 図書の寄贈

市内の図書館に以下2種の図書を寄贈した。

- 寄贈日 4月20日(火)
- 寄贈図書
 - ・「人新世の資本論」(斎藤幸平著)
一関図書館、千厩図書館を除く6館へ各1冊
 - ・「日本のSDGs それってほんとにサステナブル?」(高橋真樹著)
一関図書館へ1冊
- 寄贈立会者 菅原副会長



(5) 岩手県地球温暖化防止活動推進センター主催地域協議会情報・意見交換会 参加

- 日時 2月19日(金)
- 場所 アイーナ+Zoom
- 参加者 徳谷会長、佐々木事務局長、菅原寿運営委員(全員Zoom参加)

(6) 脱炭素チャレンジカップ2021 奨励賞受賞

一般社団法人地球温暖化防止全国ネット主催の上記コンテストにエントリーしたが出場権獲得には至らず(11月25日結果通知)。



認定第1号 令和2年度収支決算

会則第11条第2項に基づき令和2年度収支決算について次のとおり認定に付する。

令和3年5月14日提出

一関地球温暖化対策地域協議会
会長 徳谷喜久子

令和2年度収支決算

収入の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	比較	説明
会費	121,000	147,500	26,500	個人会員 (@500円×85名) 42,500
				企業・団体会員 (@5,000円×21) 105,000
補助金	851,000	851,000	0	一関市
雑収入	197	1,944	1,747	預金利子 4
				講演会チラシ郵送代 1,940
繰越金	141,803	141,803	0	前年度繰越金
合計	1,114,000	1,142,247	28,247	

支出の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	比較	説明
謝金	60,000	35,500	△24,500	広報eco 寄稿謝礼 32,000
				脱炭素な暮らし事例発表会応募者謝礼 3,500
旅費	80,000	50,450	△29,550	役員会議等出席者費用弁償
事業費	884,000	734,553	△149,447	広報eco印刷費 715,000
				市民フェスタ従事者昼食代等 4,240
				脱炭素な暮らし事例発表会用消耗品代 1,271
				クイズ地球温暖化景品発送代 5,550
				寄贈図書代 8,492
事務費	70,000	82,274	12,274	郵送料(切手・郵便料金) 79,084
				封筒代 1,760
				振込手数料 1,430
使用料	10,000	0	△10,000	
予備費	10,000	0	△10,000	
合計	1,114,000	902,777	△211,223	

収入済額 1,142,247円 - 支出済額 902,777円 = 239,470円

は翌年度に繰り越すものとする。

監査報告

令和2年度収支決算について、令和3年4月21日に監査を行った結果、正当かつ正確であることを認める。

令和3年5月14日

一関地球温暖化対策地域協議会

監事 藤江元



監事 薄井信次



議案第1号 令和3年度事業計画（案）

会則第11条第2項に基づき令和3年度事業計画を次のとおり定める。

令和3年5月14日提出

一関地球温暖化対策地域協議会
会長 徳谷喜久子

令和3年度事業計画（案）

新型コロナウイルスの変異株による新たな感染の波が全国に押し寄せている中、昨年を振り返ると、熊本県での7月豪雨から南極での史上最高気温、カリフォルニアの大規模な山火事など、異常気象の規模も頻度も増加しています。ところが世界の年間のCO₂排出量は、新型コロナの感染が拡大した欧州で、その対策として厳格な経済活動の停止を実施したことが影響した結果、大幅に減少したようです。このことをヒントに、従来通りの経済成長ではなく、このコロナ禍で形を変えた経済を創出し「脱炭素な社会」の実現に近づくことができるのではないかと考えます。

「2050年までにCO₂排出実質ゼロ」を国も岩手県も一関市も宣言した今、どのように進めていくのかを注視しながら、当協議会も「脱炭素な社会」に向かって、コロナ禍でもできる活動を拡げていきましょう。

なお、新型コロナウイルス感染症による感染拡大が続く場合には、以下の活動は中止又は延期することがあります。

具体的な活動案

1) 環境セミナー・講演会の開催

新型コロナウイルス感染症がある程度収まった時期に定時総会とは別途開催。

その場合には、感染症対策のためZ o o m併用なども検討する。

2) e c oカフェの開催

激甚化する気象災害と地球温暖化、実効あるCO₂の削減に関して、市民センター、婦人団体協議会、学校、老人クラブなどでe c oカフェを開催する。

3) 脱炭素コンテスト、脱炭素な暮らし事例発表会の後継の取組

・昔から続く手仕事を中心に据えた簡素な暮らしの発掘とその紹介
取材、撮影、広報

・”脱炭素社会・暮らし”に関する基本講座を各地域で開催

講座のテーマ案

なぜ脱炭素か、住宅用太陽光発電・蓄電池、太陽熱温水器、

薪ストーブ・ボイラー、ペレットストーブ、LED照明、

内窓設置・断熱改修、ゼロ・エネルギー住宅、EV

ごみの減量化、プラスチック問題・・・森林吸収源の増強

4) 自然エネルギー等見学会

昨年度中止に至った経緯から見学先での参加人数を限定し、バスでの集団移動を避ける開催方法やオンライン中継を検討する。

5) FMあすもの協力を得ながら、誰もがすぐできる省エネの啓発

- 6) EV試乗会の開催
- 7) 市民フェスタで当協議会ブース設置
- 8) 広報ecoの発行(年2回)(9/1、3/1)
- 9) ごみ減量やプラスチック問題などを中心に廃棄物にも関心を向け、適宜・タイムリーな活動を進める。具体的には現在計画されている可燃系ごみの中間処理施設などについてオンライン併用、またはオンラインでの学習会を開催する。
- 10) 地域主導による自然エネルギー事業化支援
- 11) 他団体との協働や支援
当協議会とひらいずみ地球温暖化対策協議会、一関市民パワー発電所事業化検討
地域協議会との3協議会交流会の開催
- 12) 会報の発行(随時)
- 13) 図書の寄贈

議案第 2 号 令和 3 年度収支予算（案）

会則第11条第 2 項に基づき令和 3 年度収支予算を次のとおり定める。

令和 3 年 5 月 14 日提出

一関地球温暖化対策地域協議会
会 長 徳 谷 喜 久 子

令和 3 年度収支予算

収入の部

(単位:円)

項 目	予算額	前年度予算額	比較	説 明
会 費	117,500	121,000	△3,500	個人会員(@500円×75名) 37,500 企業・団体会員(@5,000円×16) 80,000
補助金	851,000	851,000	0	市補助金
雑収入	30	197	△167	預金利子等
繰越金	239,470	141,803	97,667	前年度繰越金
合 計	1,208,000	1,114,000	94,000	

支出の部

(単位:円)

項 目	予算額	前年度予算額	比較	説 明
謝 金	70,000	60,000	10,000	講師謝礼等
旅 費	80,000	80,000	0	講師旅費 30,000 役員会議出席旅費 50,000
事業費	968,000	884,000	84,000	広報 eco 印刷費 730,000 各種事業に係る経費 228,000 寄贈図書 10,000
事務費	70,000	70,000	0	振込手数料 2,000 事業等案内郵送料 68,000
使用料	10,000	10,000	0	会場使用料等
予備費	10,000	10,000	0	
合 計	1,208,000	1,114,000	94,000	

※項目間の流用は、役員会に一任する。

議案第3号 役員を選出について

会則第8条第1項に基づき次の役員を選出を求める。

令和3年5月14日提出

一関地球温暖化対策地域協議会
会長 徳谷喜久子

1. 会長（1名） 徳谷喜久子（再任）

2. 監事（2名） 藤江元（再任）
薄井信次（再任）

議案第4号 役員を承認について

会則第8条第2項に基づき次の役員を承認を求める。

令和3年5月14日提出

一関地球温暖化対策地域協議会
会長 徳谷喜久子

1. 副会長（若干名） 千田恭平（再任）
菅原佐喜雄（再任）
佐藤敏朗（再任）

2. 事務局長（1名） 佐々木勝裕（再任）